

「世界最高水準」の「成長型IR」の実現に向けて

あらゆるものを「結ぶ」結節点となるIRをめざします

大阪IRは、大阪IR株式会社(中核株主：合同会社日本MGMリゾート、オリックス株式会社/少数株主：関西地元企業を中心とする22社)が夢洲に設置し、運営します。IRのリーディングカンパニーであるMGMのノウハウに加え、MICE・魅力増進・観光・エンターテインメント等の各分野で豊富な実績を持つ協力会社とともに、国際競争力を有するIRを実現します。

世界最高水準の成長型IRの実現に向けて、MGM・オリックス、関西企業等とともに一丸となって、取り組んでいきます。

[コンセプト] 結びの水都

- 大阪・関西を世界とつなぐゲートウェイ
- 豊かな水辺空間の魅力を体現

[ビジョン] “WOW”Next

- “WOW”体験(新鮮な驚きや感動)を提供
- 新しい“WOW”を地域に届け、地域とともに創出

1 | 世界水準のオールインワンMICE拠点を形成する国際会議場施設及び展示等施設

- 国際会議場施設の最大会議室の収容人数は6,000人以上で、全室の総収容人数は約12,000人以上
- 展示等施設の展示面積は約2万㎡で、多彩なイベントが開催可能

TOPIC MICE(マイス)

MICEとは、多くの集客交流が見込まれる国際会議や展示会等のビジネスイベントの総称で、観光振興にとどまらず、「人が集まる」という直接的な効果はもとより、ビジネス・イノベーションの機会の創造、地域への経済効果、国・都市の競争力向上といった、人の集積や交流から派生する付加価値を生み出すエンジンとなります。

2 | 大阪・関西及び日本の魅力を創造・発信する魅力増進施設

- 関西ジャパンハウスやジャパン・フードパビリオン等で、日本の伝統的な工芸文化や大阪・関西の食文化等の魅力を発信
- ガーデンシアターでは、伝統芸能に新たな表現手法を取り入れた革新的なコンテンツや体験型のイベント等を提供

3 | 大阪IRから日本各地に観光客を送り出す送客施設

- 関西ツーリズムセンターで、最先端技術を活用した観光情報の提供、専門人材やAIによる観光案内等により、府内・関西はもちろんのこと、日本各地に観光客を送出
- 大規模なバスターミナルや、フェリーターミナル(船着き場を併設)を整備し、アクセス機能を強化

4 | 利用者ニーズに対応した特色ある宿泊施設

- エンターテインメントホテル、多世代型アクアリゾートホテル、VIP向け最高級ホテルで構成され、ビジネス客やファミリー層、富裕層など、多様な宿泊へのニーズに対応
- 3つのホテルの総客室数は、約2,500室

TOPIC 大阪IRの事業計画

- 設置予定地：大阪湾の人工島「夢洲(ゆめしま)」
- 敷地面積：約49.2万㎡
- 総延床面積：約77万㎡
- 初期投資額：約1兆2,700億円(税抜き)
(建設関連投資：約9,600億円、その他：約3,100億円)
- 年間来訪者：約2,000万人(国内：約1,400万人、国外：約600万人)
- 年間売上：約5,200億円(ノンゲーミング：約1,000億円、ゲーミング：約4,200億円)

6 | 世界最高水準の規制の下での公正・廉潔なカジノ施設

- ゲーミング区域は、IR施設の床面積の合計の3%以内とし、適切な国の監視・管理の下で運営
- カジノ施設を利用しない来訪者へ配慮した配置・デザインを計画

5 | 国際的なエンターテインメント拠点をめざす来訪及び滞在寄与施設

- 約3,500席の夢洲シアターで、新しいエンターテインメントを世界に向けて発信するとともに、大阪IRでしか見られないショーやイベントなどを開催
- ウォーターフロントでは、イベント等の開催によりにぎわいを創出し、多様な体験を提供